

## 第9章 事務計算アルゴリズム (応用編)

### 指導目標

事務処理のプログラムを作成する上での、基本的なプログラミング技法について学習する。

事務処理には、印刷処理（改ページ）、集計処理（コントロールブレイク）、ファイル更新処理（マッチング）などがある。これらの処理をプログラミングする場合、最も重要はことは処理を良く理解してフローチャートなどに表現することである。フローチャートに表現できれば、各言語の規約に従ってコーディングするだけである。

また、各処理には基本的（古典的）なパターンがあり、このパターンを自分のものにしていく事が重要である。自分のものにするためには、パターンに慣れさせる必要があり、これら基本パターンの例題を数多く取り上げ、じっくりと指導する。

## 内容のあらまし

内 容	説 明	議 論	机上実習	計算機実習
ページ替え	帳票の作成に関連する知識とWRITE文の行送りを説明する。		コントロールブレイク条件を増やして複雑な例題へと展開させる。	実際に欠かさないアルゴリズムであり簡単な例題から複雑な例題へと展開する。
シーケンスチェック	キー項目の新旧の入れ替えのタイミングとその方法を説明する。			
ヒストグラム	配列の扱いと印刷する時の考え方を横、縦のヒストグラムで説明する。		配列の扱いについて図解等で説明できるようにする。	
ファイルの突合せ	マッチング処理について1対1 1対nの考え方を説明する。		図解と具体的な値で処理の流れを自習する。	
ファイルの更新	図解等で処理をよく理解させ、順ファイルと索引ファイルでの違いを説明する。	ファイル編成と更新処理の関係を議論する。	例題を与えて適切な更新処理とは何かを考えさせる。	
事例	処理の概要を解説し、プログラムを読ませ問題点や改良点を説明する。	問題点や改良点を見つけて議論する。	より簡潔なコーディングに書き直させる。	簡潔になったプログラムを実行させる。

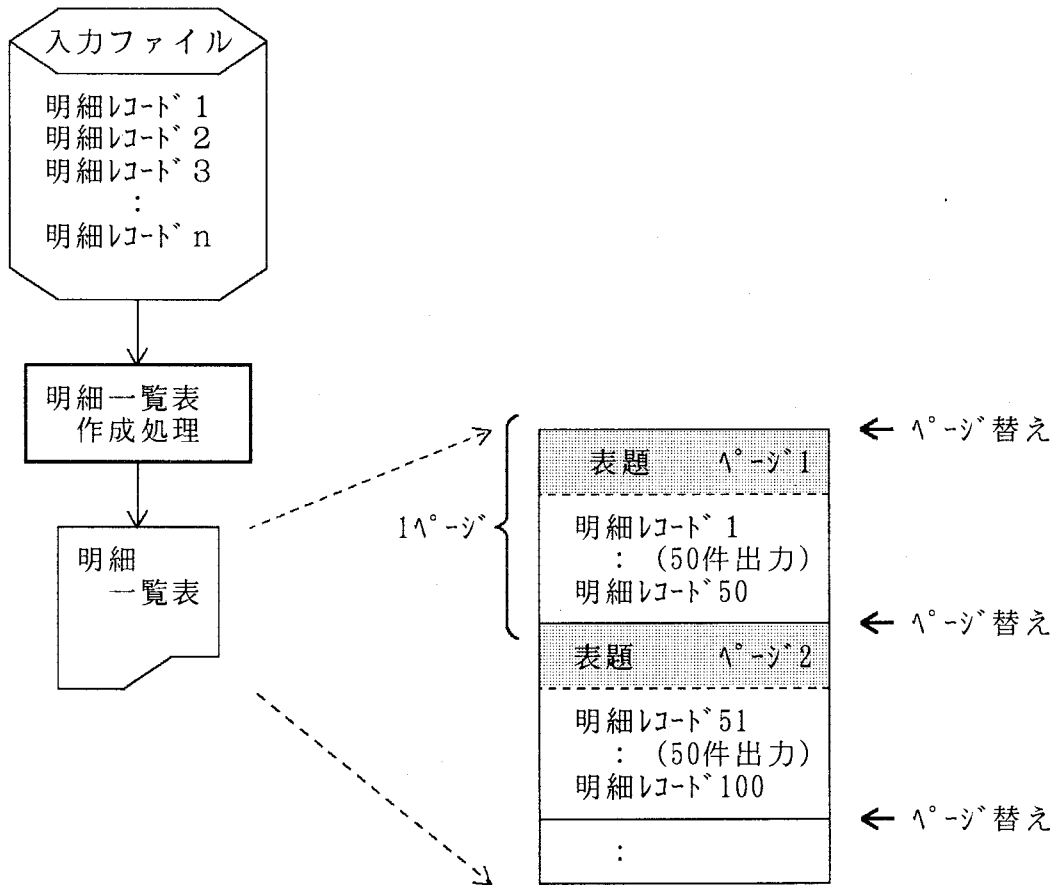
第9章 事務計算アルゴリズム

9.1 ページ替え

改ページは、WRITE文のADVANCING PAGE指定で行う。  
 改行は、ADVANCING LINES指定で行う。  
 レコードを書き出す前に、改ページまたは改行を行う場合は、AFTERを指定する。  
 書き出した後で行う場合はBEFOREを指定する。

```

WRITE レコード名 FROM 一意名1
    { AFTER } ADVANCING {一意名2 / 定数 LINES }
    { BEFORE }          { PAGE }
    
```



コントロールブレークとは、制御の流れを変えることである。集計処理では、レコードのキー項目の値が同じ間はデータ項目の合計処理を行い、キー項目が変わるとそれまでの合計値を印刷する。このように繰り返し処理がある条件で変化することをコントロールブレークが発生したという。

集計処理のある条件とは、キー項目の値が変わった場合であり、他に集計レコードの終了もコントロールブレークの条件になる。

ページ替えのプログラム例

```

IDENTIFICATION DIVISION.
PROGRAM-ID.  頁替え.
ENVIRONMENT DIVISION.
INPUT-OUTPUT SECTION.
FILE-CONTROL.
    SELECT 入力ファイル ASSIGN TO 作成者語
                                ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.
    SELECT 明細ファイル ASSIGN TO 作成者語
                                ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.

DATA DIVISION.
FILE SECTION.
FD 入力ファイル.
01 入力レポート.
    03 FILLER PIC X(80).
FD 明細ファイル.
01 明細レポート.
    03 FILLER PIC X(80).
WORKING-STORAGE SECTION.
01 終了フラグ PIC X(3) VALUE "OFF".
    88 終了 VALUE "ON".
01 最大行数 PIC 9(3) VALUE 10.
01 行数 PIC 9(3) VALUE 99.
01 頁数 PIC 9(3) VALUE 0.

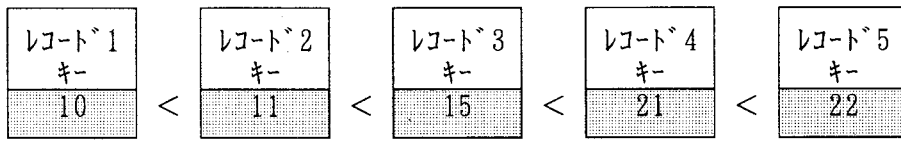
01 表題.
    03 PIC X(01).
    03 PIC X(50) VALUE " 明細一覧表 ".
    03 表題頁 PIC ZZ9B.
    03 PIC X(5) VALUE "ページ".

PROCEDURE DIVISION.
開始.
OPEN INPUT 入力ファイル, OUTPUT 明細ファイル
READ 入力ファイル
    AT END SET 終了 TO TRUE
END-READ
PERFORM UNTIL 終了
    IF 行数 > 最大行数 THEN
        COMPUTE 表題頁, 頁数 = 頁数 + 1
        WRITE 明細レポート FROM 表題 AFTER ADVANCING PAGE
        MOVE SPACE TO 明細レポート
        WRITE 明細レポート AFTER ADVANCING 1
        MOVE ZERO TO 行数
    END-IF
    WRITE 明細レポート FROM 入力レポート AFTER ADVANCING 1
    COMPUTE 行数 = 行数 + 1
    READ 入力ファイル
        AT END SET 終了 TO TRUE
    END-READ
END-PERFORM
CLOSE 入力ファイル, 明細ファイル
STOP RUN.

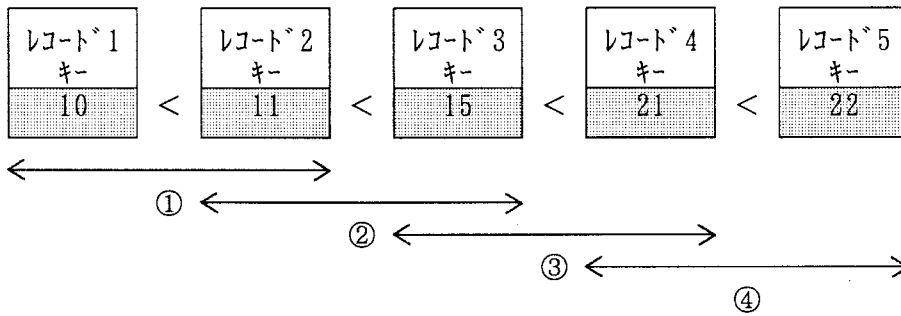
```

## 9. 2 シーケンスチェック

レコードのキー項目が、整列済み（昇順、降順）であることをチェックする。



レコードを入力してキー項目を保存して置き、次のレコードを入力して保存してある前のレコードのキー項目と比較する。この処理をファイルが終了するまで繰り返す。



プログラム作成上の注意としては、ファイル中の最初のレコードの取扱い、そして、キー項目の入れ替え、ファイル中の最後のレコードの取扱い方である。また、レコードが1件の場合でも正しく動作することも重要である。

シーケンスチェックのプログラム例

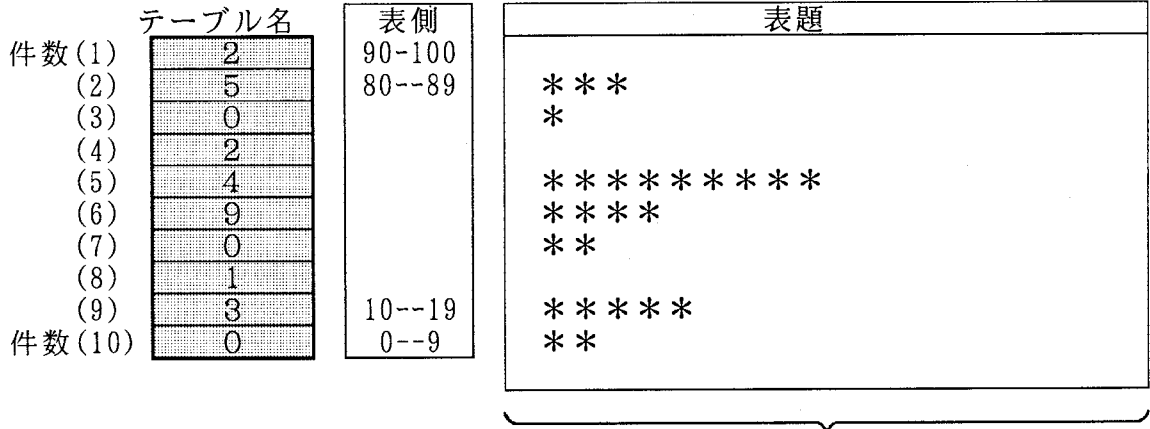
```
IDENTIFICATION DIVISION.  
PROGRAM-ID.  整列済み.  
ENVIRONMENT DIVISION.  
INPUT-OUTPUT SECTION.  
FILE-CONTROL.  
    SELECT 入力ファイル ASSIGN TO 作成者語  
        ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.  
  
DATA DIVISION.  
FILE SECTION.  
FD 入力ファイル.  
01 入力レコード.  
    03          PIC X(28).  
    03 キー値    PIC X(10).  
    03          PIC X(42).  
WORKING-STORAGE SECTION.  
01 前キー値    PIC X(10).  
01 現キー値    PIC X(10).  
  
PROCEDURE DIVISION.  
開始.  
    OPEN INPUT 入力ファイル  
    READ 入力ファイル  
        AT END      MOVE HIGH-VALUE TO 現キー値  
        NOT AT END  MOVE キー値      TO 現キー値  
    END-READ  
    MOVE 現キー値 TO 前キー値  
    PERFORM UNTIL 現キー値 = HIGH-VALUE  
        READ 入力ファイル  
            AT END      MOVE HIGH-VALUE TO 現キー値  
            NOT AT END  MOVE キー値      TO 現キー値  
        END-READ  
        EVALUATE TRUE  
            WHEN 前キー値 < 現キー値  
                MOVE 現キー値 TO 前キー値  
            WHEN 前キー値 = 現キー値  
                DISPLAY "重複エラーがあります。処理を中断します."  
                MOVE HIGH-VALUE TO 現キー値  
            WHEN OTHER  
                DISPLAY "シーケンスエラー発生、処理を中断します."  
                MOVE HIGH-VALUE TO 現キー値  
        END-EVALUATE  
    END-PERFORM  
    CLOSE 入力ファイル  
    STOP RUN.
```

注：キー項目の値にHIGH-VALUEは存在しないものとしている。

9. 3 ヒストグラム (histogram) の作成

集計データの結果をヒストグラムで出力する。

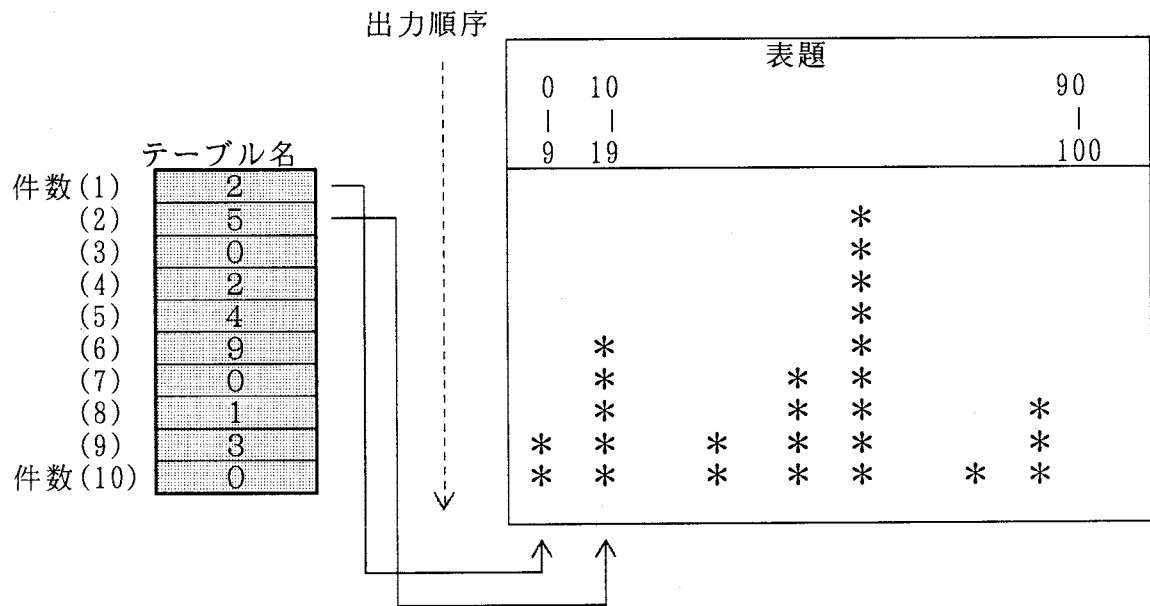
(1) 横ヒストグラム



要素の順番と表側の順番に注意すること。

星印を設定する項目も配列にする。  
 MOVE "\*" TO FIELD2(J)  
 配列を使用しないで部分文字列を使う場合  
 COMPUTE K = 件数(I) + 6  
 MOVE ALL "\*" TO グラフコード(7:K)

(2) 縦のヒストグラム



ヒストグラムのプログラム例 (横ヒストグラム)

```

IDENTIFICATION DIVISION.
PROGRAM-ID. 横グラフ.
ENVIRONMENT DIVISION.
INPUT-OUTPUT SECTION.
FILE-CONTROL.
    SELECT 入力ファイル ASSIGN TO 作成者語
                                ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.
    SELECT グラフファイル ASSIGN TO 作成者語
                                ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.

DATA DIVISION.
FILE SECTION.
FD 入力ファイル.
01 入力レコード.
    03 機種名 PIC X(10).
    03 価格 PIC 9(07).
    03 FILLER PIC X(13).
FD グラフファイル.
01 グラフレコード.
    03 FIELD1 PIC X(06).
    03 PIC X(01).
    03 FIELD2 PIC X OCCURS 100 TIMES.
WORKING-STORAGE SECTION.
01 終了フラグ PIC X(3) VALUE "OFF".
01 I PIC 9(4) COMPUTATIONAL.
01 J PIC 9(4) COMPUTATIONAL.
01 K PIC 9(4) COMPUTATIONAL.
01 集計テーブル.
    03 件数 PIC 9(3) OCCURS 10 TIMES.

01 表題1 PIC X(50) VALUE " 横グラフ ".
01 表題2.
    03 PIC X(27) VALUE "価格帯 1---+---10----+---20".
    03 PIC X(30) VALUE "----+---30----+---40----+---50".
    03 PIC X(30) VALUE "----+---60----+---70----+---80".
    03 PIC X(22) VALUE "----+---90----+---100".
01 表題3 PIC X(06) VALUE "(万円)".
01 表側定数.
    03 PIC X(6) VALUE "90-100".
    03 PIC X(6) VALUE "80--89".
    03 PIC X(6) VALUE "70--79".
    03 PIC X(6) VALUE "60--69".
    03 PIC X(6) VALUE "50--59".
    03 PIC X(6) VALUE "40--49".
    03 PIC X(6) VALUE "30--39".
    03 PIC X(6) VALUE "20--29".
    03 PIC X(6) VALUE "10--19".
    03 PIC X(6) VALUE " 0---9".
01 表側 REDEFINES 表側定数.
    03 価格帯 PIC X(6) OCCURS 10 TIMES.
    
```

(続く)



PROCEDURE DIVISION.

開始.

```
OPEN INPUT 入力ファイル, OUTPUT グラフファイル
PERFORM VARYING I FROM 1 BY 1 UNTIL I > 10
    MOVE ZERO TO 件数(I)
END-PERFORM
READ 入力ファイル
    AT END MOVE "ON" TO 終了フラグ
END-READ
PERFORM UNTIL 終了フラグ = "ON"
    COMPUTE I = (価格 / 100000) + 1
    IF I > 10 THEN MOVE 10 TO I END-IF
    IF I = 0 THEN MOVE 1 TO I END-IF
    COMPUTE I = 11 - I
    COMPUTE 件数(I) = 件数(I) + 1
    READ 入力ファイル
        AT END MOVE "ON" TO 終了フラグ
    END-READ
END-PERFORM
WRITE グラフコート FROM 表題1 AFTER PAGE
WRITE グラフコート FROM 表題2 AFTER 2
WRITE グラフコート FROM 表題3 AFTER 1
PERFORM VARYING I FROM 1 BY 1 UNTIL I > 10
    MOVE SPACE TO グラフコート
    MOVE 価格帯(I) TO FIELD1
    PERFORM VARYING J FROM 1 BY 1 UNTIL J > 100
        OR J > 件数(I)
        MOVE "*" TO FIELD2(J)
    END-PERFORM
    WRITE グラフコート AFTER 1
END-PERFORM
WRITE グラフコート FROM 表題2 AFTER 1

CLOSE 入力ファイル, グラフファイル
STOP RUN.
```

ヒストグラムのプログラム例 (縦ヒストグラム)

```

IDENTIFICATION DIVISION.
PROGRAM-ID. 縦グラフ.
ENVIRONMENT DIVISION.
INPUT-OUTPUT SECTION.
FILE-CONTROL.
    SELECT 入力ファイル ASSIGN TO 作成者語
                                ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.
    SELECT グラフファイル ASSIGN TO 作成者語
                                ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.

DATA DIVISION.
FILE SECTION.
FD 入力ファイル.
01 入力レコード.
    03 機種名 PIC X(10).
    03 価格 PIC 9(07).
    03 FILLER PIC X(13).
FD グラフファイル.
01 グラフレコード.
    03 番号 PIC ZZZZ.
    03 記号 PIC X(1).
    03 FIELD2 OCCURS 10 TIMES.
        05 PIC X.
        05 FLD2 PIC X.
        05 PIC X(3).

WORKING-STORAGE SECTION.
01 終了フラグ PIC X(3) VALUE "OFF".
01 I PIC 9(4) COMPUTATIONAL.
01 J PIC 9(4) COMPUTATIONAL.
01 K PIC 9(4) COMPUTATIONAL.
01 集計テーブル.
    03 件数 PIC 9(3) OCCURS 10 TIMES.

01 表題1 PIC X(50) VALUE " 縦グラフ ".
01 表題2.
    03 PIC X(05) VALUE " +".
    03 PIC X(30) VALUE "-----".
    03 PIC X(18) VALUE "-----+".
01 表題3.
    03 PIC X(05) VALUE " ".
    03 PIC X(30) VALUE " 0 10 20 30 40 50 ".
    03 PIC X(17) VALUE "60 70 80 90".
01 表題4.
    03 PIC X(05) VALUE " ".
    03 PIC X(30) VALUE " | | | | | ".
    03 PIC X(17) VALUE " | | | | ".
01 表題5.
    03 PIC X(05) VALUE " ".
    03 PIC X(30) VALUE " 9 19 29 39 49 59 ".
    03 PIC X(17) VALUE "69 79 89 100".
    
```

(続く)

(続き)

PROCEDURE DIVISION.

開始.

```
OPEN INPUT 入力ファイル, OUTPUT グラフファイル
PERFORM VARYING I FROM 1 BY 1 UNTIL I > 10
    MOVE ZERO TO 件数(I)
END-PERFORM
READ 入力ファイル
    AT END MOVE "ON" TO 終了フラグ
END-READ
PERFORM UNTIL 終了フラグ = "ON"
    COMPUTE I = (価格 / 100000) + 1
    IF I > 10 THEN MOVE 10 TO I END-IF
    IF I = 0 THEN MOVE 1 TO I END-IF
    COMPUTE 件数(I) = 件数(I) + 1
    READ 入力ファイル
        AT END MOVE "ON" TO 終了フラグ
    END-READ
END-PERFORM
WRITE グラフレコード FROM 表題1 AFTER PAGE
PERFORM VARYING I FROM 100 BY -1 UNTIL I = 0
    MOVE SPACE TO グラフレコード
    MOVE "I" TO 記号
    DIVIDE I BY 10 GIVING J REMAINDER K
    IF K = 0 THEN MOVE I TO 番号 END-IF
    PERFORM VARYING J FROM 1 BY 1 UNTIL J > 10
        IF 件数(J) >= I THEN MOVE "*" TO FLD2(J) END-IF
    END-PERFORM
    WRITE グラフレコード AFTER 1
END-PERFORM
WRITE グラフレコード FROM 表題2 AFTER 1
WRITE グラフレコード FROM 表題3 AFTER 1
WRITE グラフレコード FROM 表題4 AFTER 1
WRITE グラフレコード FROM 表題5 AFTER 1

CLOSE 入力ファイル, グラフファイル
STOP RUN.
```

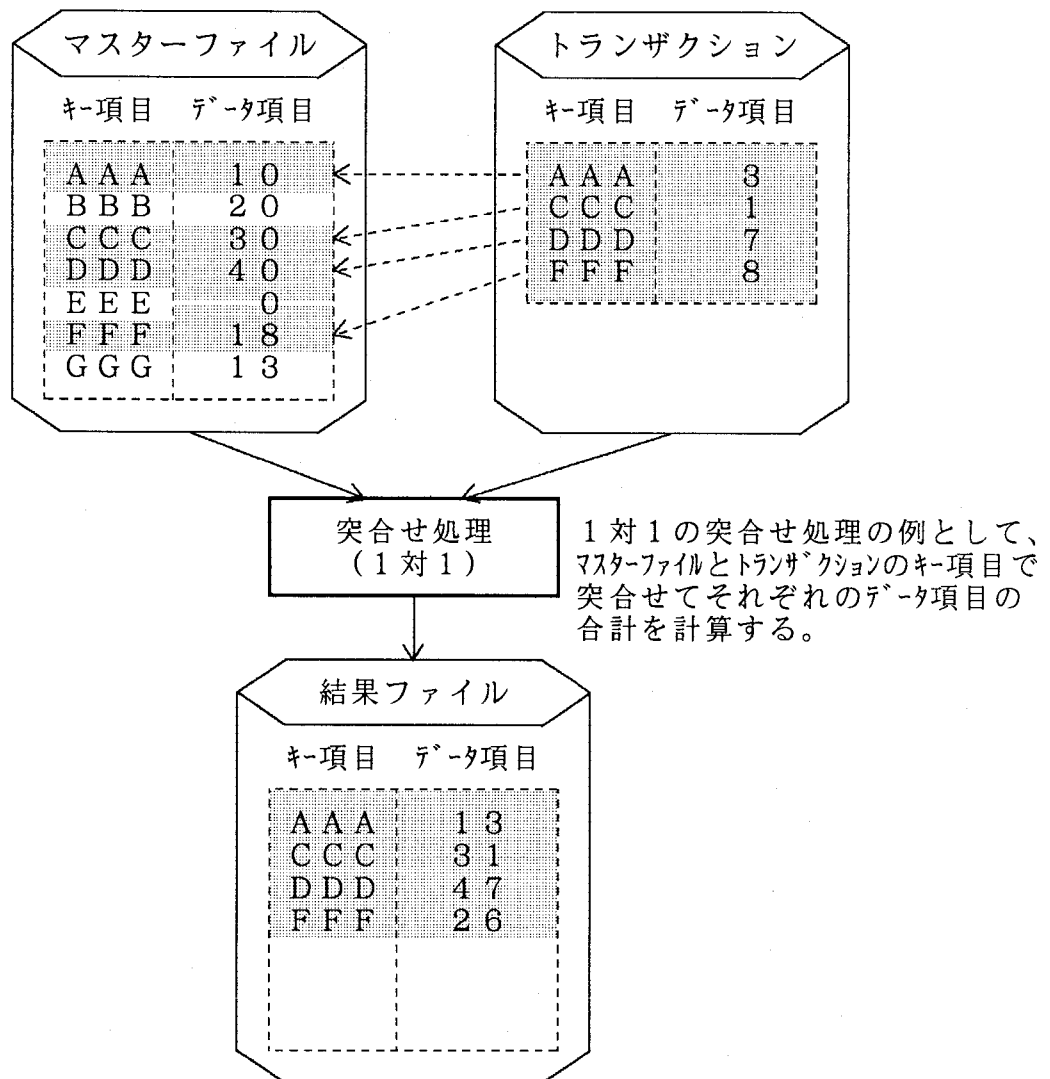
## 9. 4 ファイルの突合せ

別々のファイルの特定のキー項目による突き合わせを行い、キー項目が一致するか否かの処理を行うことを「突合せ (matching) 処理」という。

突合せを行うファイルのレコードは、それぞれ一つ以上のキー項目がある。突合せ処理のファイルのレコードは、そのキー項目が昇順 (ascending)、降順 (descending) のいずれかで整列 (分類) されている必要がある。

### 9. 4. 1 1対1の突合せ処理

突合せ処理を行うファイルで、キー項目が同じ値を持つレコードが他にない場合に「1対1の突合せ」という。



1対1の突合せ処理のプログラム例

```
IDENTIFICATION DIVISION.  
PROGRAM-ID. 1対1.  
ENVIRONMENT DIVISION.  
INPUT-OUTPUT SECTION.  
FILE-CONTROL.  
    SELECT マスターファイル ASSIGN TO 作成者語  
                                ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.  
    SELECT トランザクション ASSIGN TO 作成者語  
                                ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.  
    SELECT 結果ファイル ASSIGN TO 作成者語  
                                ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.  
  
DATA DIVISION.  
FILE SECTION.  
FD マスターファイル.  
01 マスターレコード.  
    03 FILLER PIC X(10).  
FD トランザクション.  
01 トランザクションレコード.  
    03 FILLER PIC X(10).  
FD 結果ファイル.  
01 結果レコード.  
    03 Xキー値 PIC X(06).  
    03 合計項目 PIC 9(04).  
WORKING-STORAGE SECTION.  
01 マスター領域.  
    03 Mキー値 PIC X(06).  
    03 データ項目 PIC 9(04).  
01 トランザクション領域.  
    03 Tキー値 PIC X(06).  
    03 データ項目 PIC 9(04).
```

(続く)

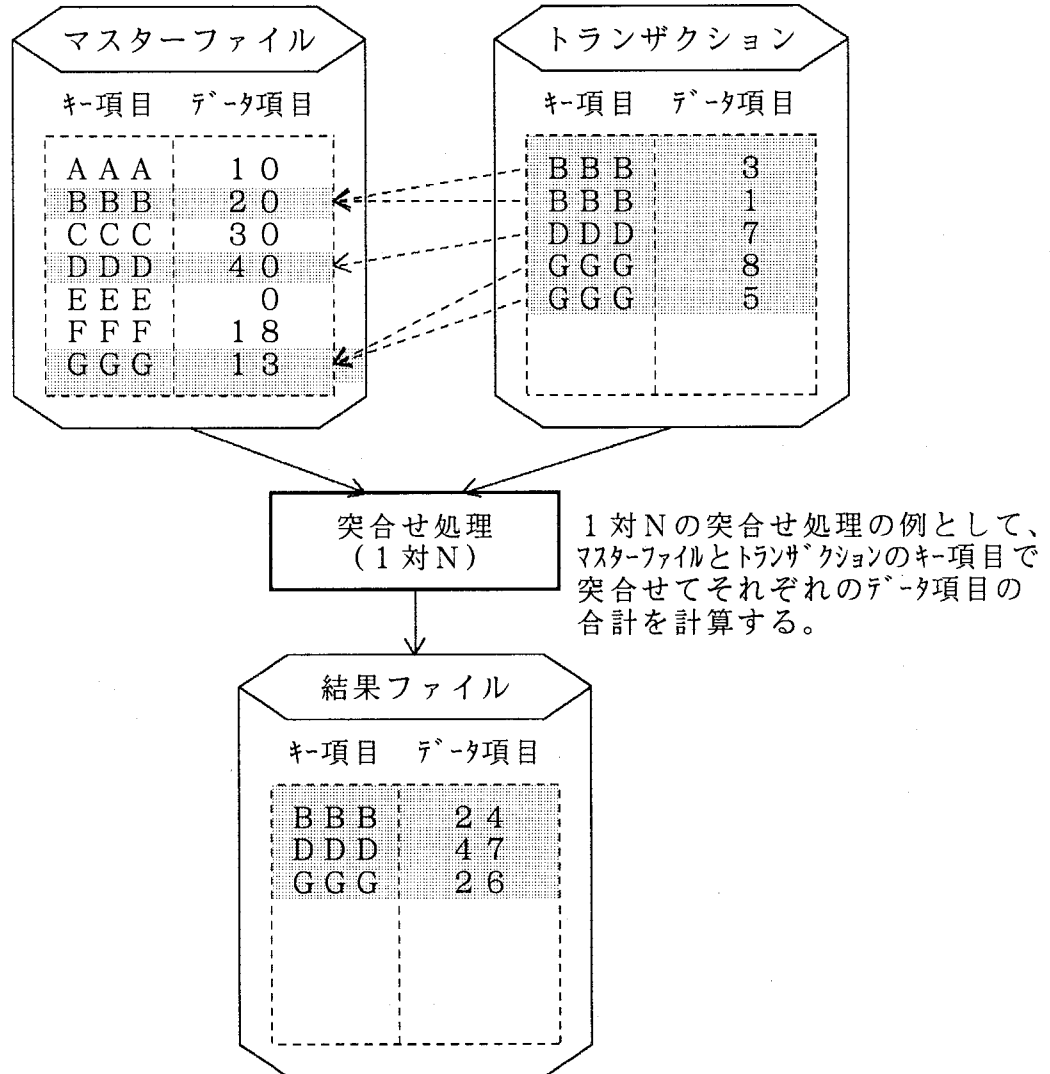
(続き)

```
PROCEDURE DIVISION.  
開始.  
  OPEN INPUT  マスターファイル, トランザクション  
    OUTPUT 結果ファイル  
  READ マスターファイル INTO マスター領域  
    AT END MOVE HIGH-VALUE TO Mキー値  
  END-READ  
  READ トランザクション INTO トランザクション領域  
    AT END MOVE HIGH-VALUE TO Tキー値  
  END-READ  
  PERFORM UNTIL Tキー値 = HIGH-VALUE  
    IF Mキー値 < Tキー値  
      READ マスターファイル INTO マスター領域  
        AT END MOVE HIGH-VALUE TO Mキー値  
      END-READ  
    ELSE  
      PERFORM  
        IF Mキー値 = Tキー値  
          MOVE Mキー値 TO Xキー値  
          COMPUTE 合計項目 = データ項目 OF マスター領域  
            + データ項目 OF トランザクション領域  
          WRITE 結果レポート  
          READ マスターファイル INTO マスター領域  
            AT END MOVE HIGH-VALUE TO Mキー値  
          END-READ  
          READ トランザクション INTO トランザクション領域  
            AT END MOVE HIGH-VALUE TO Tキー値  
          END-READ  
        ELSE  
          DISPLAY "処理中止 (Tキーがマスターに存在しません) "  
          MOVE HIGH-VALUE TO Tキー値  
        END-IF  
      END-PERFORM  
    END-IF  
  END-PERFORM  
  CLOSE マスターファイル, トランザクション, 結果ファイル  
  STOP RUN.
```

注：キー項目にHIGH-VALUEは存在しないものとする。

### 9. 4. 2 1対Nの突合せ処理

突合せ処理を行うファイルで、一方のファイル（例ではマスターファイル）にはキー項目が重複するレコードがなく、他方のファイル（例ではトランザクション）に、複数の同じキー項目の値を持つレコードある場合の突合せを、「1対Nの突合せ」という。



1 対Nの突合せ処理のプログラム例

```
IDENTIFICATION DIVISION.  
PROGRAM-ID. 1 対N.  
ENVIRONMENT DIVISION.  
INPUT-OUTPUT SECTION.  
FILE-CONTROL.  
    SELECT マスターファイル ASSIGN TO 作成者語  
                                ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.  
    SELECT トランザクション ASSIGN TO 作成者語  
                                ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.  
    SELECT 結果ファイル ASSIGN TO 作成者語  
                                ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.  
  
DATA DIVISION.  
FILE SECTION.  
FD マスターファイル.  
01 マスターレコード.  
    03 FILLER PIC X(10).  
FD トランザクション.  
01 トランザクションレコード.  
    03 FILLER PIC X(10).  
FD 結果ファイル.  
01 結果レコード.  
    03 Xキー値 PIC X(06).  
    03 合計項目 PIC 9(04).  
WORKING-STORAGE SECTION.  
01 マスター領域.  
    03 Mキー値 PIC X(06).  
    03 データ項目 PIC 9(04).  
01 トランザクション領域.  
    03 Tキー値 PIC X(06).  
    03 データ項目 PIC 9(04).
```

(続く)



## PROCEDURE DIVISION.

開始.

```

OPEN INPUT マスターファイル, トランザクション
      OUTPUT 結果ファイル
READ マスターファイル INTO マスター領域
      AT END MOVE HIGH-VALUE TO Mキー値
END-READ
READ トランザクション INTO トランザクション領域
      AT END MOVE HIGH-VALUE TO Tキー値
END-READ
PERFORM UNTIL Tキー値 = HIGH-VALUE
  IF Mキー値 < Tキー値
    READ マスターファイル INTO マスター領域
      AT END MOVE HIGH-VALUE TO Mキー値
    END-READ
  ELSE
    IF Mキー値 = Tキー値
      MOVE Mキー値 TO Xキー値
      MOVE データ項目 OF マスター領域 TO 合計項目
      PERFORM TEST AFTER UNTIL Mキー値 NOT = Tキー値
      COMPUTE 合計項目 = 合計項目
        + データ項目 OF トランザクション領域
      READ トランザクション INTO トランザクション領域
        AT END MOVE HIGH-VALUE TO Tキー値
      END-READ
    END-PERFORM
    WRITE 結果レポート
    READ マスターファイル INTO マスター領域
      AT END MOVE HIGH-VALUE TO Mキー値
    END-READ
  ELSE
    DISPLAY "シーケンスエラー"
    READ トランザクション INTO トランザクション領域
      AT END MOVE HIGH-VALUE TO Tキー値
    END-READ
  END-IF
END-IF
END-PERFORM
CLOSE マスターファイル, トランザクション, 結果ファイル
STOP RUN.

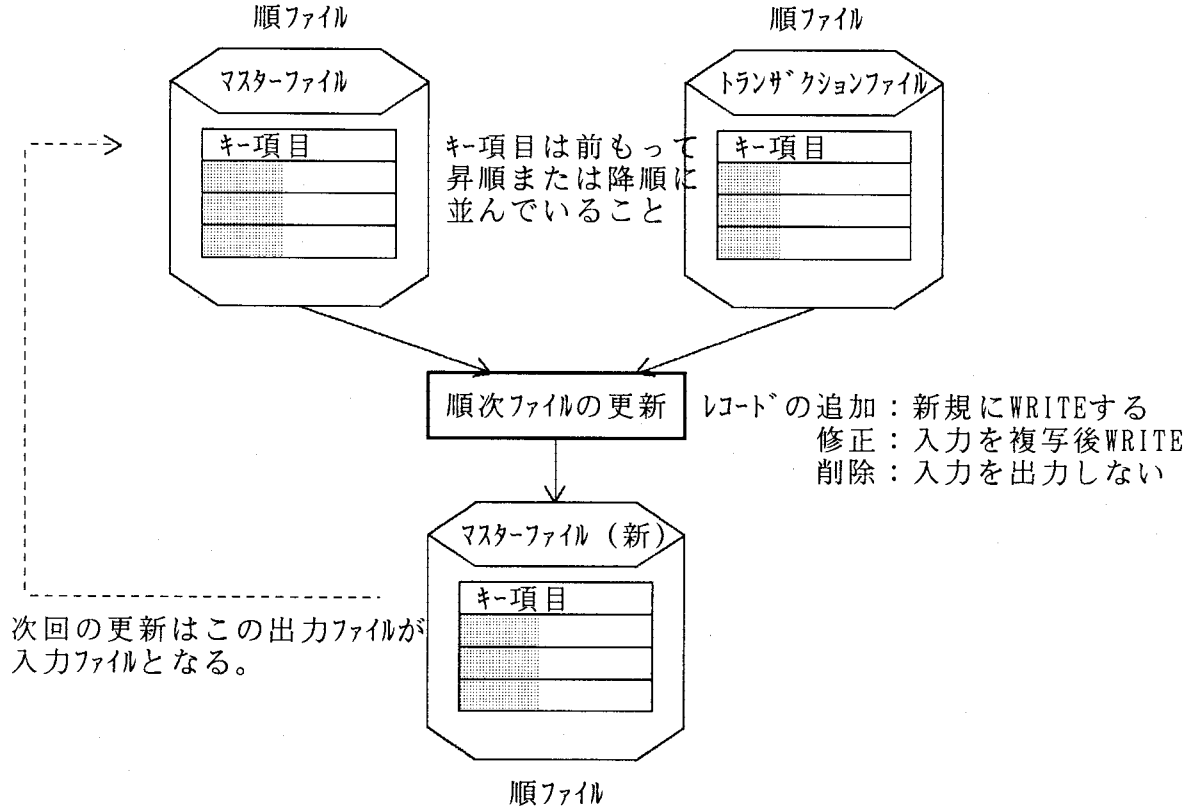
```

注：キー項目にはHIGH-VALUEが存在しないものとする。

## 9. 5 ファイルの更新

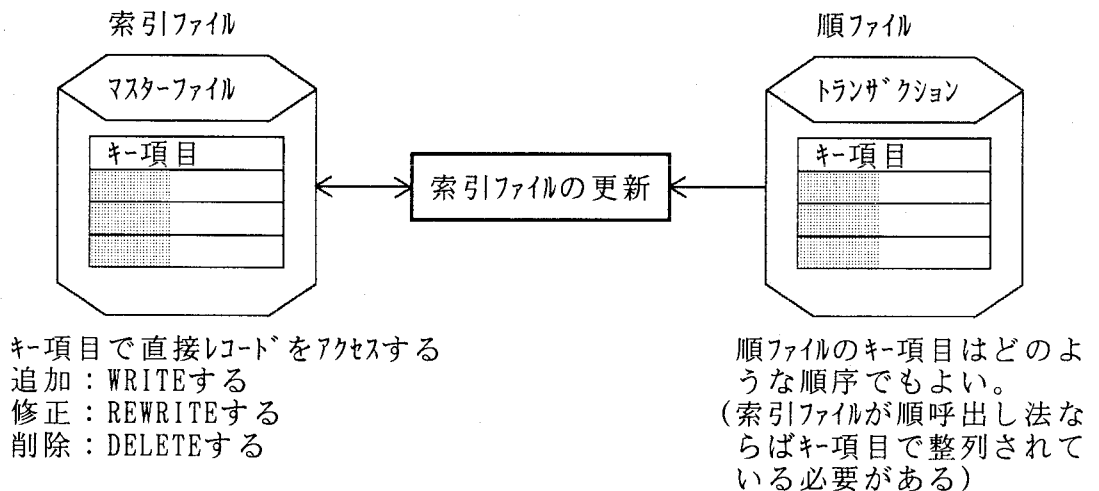
### 9. 5. 1 順ファイルの更新

突合せ処理の形態として、「併合 (merge) 処理」がある。併合処理は、レコードが特定のキー項目で整列 (分類) 済みの複数ファイルを、そのキー項目で突合せて一つのファイルにまとめる。



### 9. 5. 2 索引ファイルの更新

突合せ処理の形態として、「更新 (update) 処理」がある。更新処理は、トランザクションファイルのレコードの内容を、マスターファイルのレコードに対して追加、修正、削除を行いマスターファイルを更新する。



9. 6 事例

具体的な事例としては、次のとおり。

参考：「COBOL自習の課題集」  
 全国コンピュータ・カレッジ連絡協議会 西日本ブロック教育部会編より

9. 6. 1 打撃成績表の作成

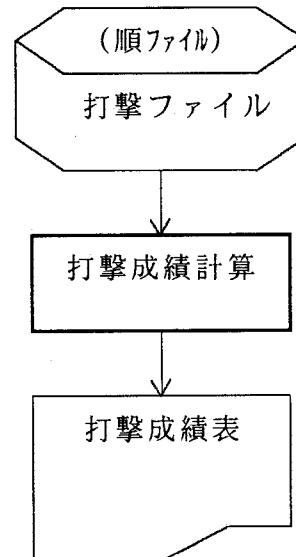
打撃ファイルを入力して打撃成績表を作成する。

①打撃ファイルの形式

項目	選手コード		選手名	打数	ヒット	ホームラン	打点	空白
	チーム	背番号						
桁数	2	2	15	3	3	3	3	9
属性	X	X	X	9	9	9	9	X

②処理内容

- (1)打率は四捨五入して小数第3桁まで求める  
 $打率 = \text{ヒット} \div \text{打数}$
- (2)大見出しと小見出しをつけて印刷する。
- (3)明細は間に空白行をいれず連続して印刷する。
- (4)打撃ファイルには1件以上のレコードが存在する。



③打撃成績表の形式

ダゲキ セイセキ ヒョウ							
チーム	セハンゴウ	センジュメイ	ダスウ	ヒット	ホームラン	ダテン	ダリツ
XX	XX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	ZZ9	ZZ9	ZZ9	ZZ9	Z.999
XX	XX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	ZZ9	ZZ9	ZZ9	ZZ9	Z.999
XX	XX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	ZZ9	ZZ9	ZZ9	ZZ9	Z.999
XX	XX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	ZZ9	ZZ9	ZZ9	ZZ9	Z.999
		⋮					
		⋮					
XX	XX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	ZZ9	ZZ9	ZZ9	ZZ9	Z.999

「打撃成績表の作成」のプログラム例

```
IDENTIFICATION DIVISION.
PROGRAM-ID. 打撃成績.
ENVIRONMENT DIVISION.
INPUT-OUTPUT SECTION.
FILE-CONTROL.
    SELECT SEI-FILE ASSIGN TO 作成者語.
    SELECT ICH-FILE ASSIGN TO 作成者語.
DATA DIVISION.
FILE SECTION.
FD SEI-FILE
    BLOCK CONTAINS 10 RECORDS.
01 SEI-REC.
    03 SEI-CODE.
        05 SEI-TEAM PIC X(02).
        05 SEI-BANGO PIC X(02).
    03 SEI-NAME PIC X(15).
    03 SEI-DASU PIC 9(03).
    03 SEI-HIT PIC 9(03).
    03 SEI-HR PIC 9(03).
    03 SEI-DATEN PIC 9(03).
    03 PIC X(09).
FD ICH-FILE
    LABEL RECORD OMITTED
    BLOCK CONTAINS 1 RECORDS.
01 ICH-REC PIC X(132).
WORKING-STORAGE SECTION.
01 MIDASHI-1.
    03 PIC X(35) VALUE SPACE.
    03 PIC X(16) VALUE "タゲキ セイセイキ ヒョウ".
01 MIDASHI-2.
    03 PIC X(20) VALUE SPACE.
    03 PIC X(14) VALUE "チーム セハンゴウ".
    03 PIC X(18) VALUE "センシュメイ".
    03 PIC X(13) VALUE "タースウ ヒット".
    03 PIC X(17) VALUE "ホームラン タテン".
    03 PIC X(04) VALUE "タリツ".
01 ICHIRAN.
    03 PIC X(21).
    03 ICH-TEAM PIC X(02).
    03 PIC X(04).
    03 ICH-BANGO PIC X(02).
    03 PIC X(05).
    03 ICH-NAME PIC X(15).
    03 PIC X(04).
    03 ICH-DASU PIC ZZ9.
    03 PIC X(04).
    03 ICH-HIT PIC ZZ9.
    03 PIC X(04).
    03 ICH-HR PIC ZZ9.
    03 PIC X(04).
    03 ICH-DATEN PIC ZZ9.
    03 PIC X(04).
    03 ICH-AVG PIC Z.999.
```

(続く)

```
PROCEDURE DIVISION.  
BEGIN SECTION.  
    PERFORM INIT-RTN  
    PERFORM MAIN-RTN UNTIL SEI-REC = HIGH-VALUE  
    PERFORM TERM-RTN  
    STOP RUN.  
  
INIT-RTN SECTION.  
INIT1.  
    OPEN INPUT SEI-FILE  
        OUTPUT ICH-FILE  
    READ SEI-FILE  
        AT END  
            MOVE HIGH-VALUE TO SEI-REC  
        NOT AT END  
            MOVE SPACE TO ICHIRAN  
            WRITE ICH-REC FROM ICHIRAN AFTER PAGE  
            WRITE ICH-REC FROM MIDASHI-1 AFTER 3  
            WRITE ICH-REC FROM MIDASHI-2 AFTER 2  
            WRITE ICH-REC FROM ICHIRAN AFTER 1  
    END-READ.  
  
MAIN-RTN SECTION.  
MAIN1.  
    MOVE SEI-TEAM TO ICH-TEAM  
    MOVE SEI-BANGO TO ICH-BANGO  
    MOVE SEI-NAME TO ICH-NAME  
    MOVE SEI-DASU TO ICH-DASU  
    MOVE SEI-HIT TO ICH-HIT  
    MOVE SEI-HR TO ICH-HR  
    MOVE SEI-DATEN TO ICH-DATEN  
    COMPUTE ICH-AVG ROUNDED = SEI-HIT / SEI-DASU  
        ON SIZE ERROR  
            MOVE ZERO TO ICH-AVG  
    END-COMPUTE  
    WRITE ICH-REC FROM ICHIRAN AFTER 1  
    READ SEI-FILE  
        AT END  
            MOVE HIGH-VALUE TO SEI-REC  
    END-READ.  
  
TERM-RTN SECTION.  
TERM1.  
    CLOSE SEI-FILE  
        ICH-FILE.
```

9. 6. 2 COBOL 整列処理

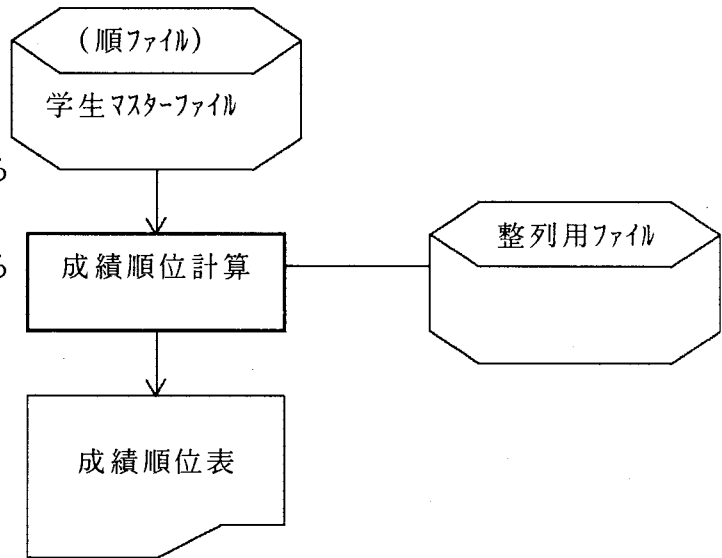
学生マスターファイルを入力して、クラス別の成績順位表を作成する。

① 学生マスターファイルの形式

項目	学生番号			氏名 (カナ)	氏名 (漢字)	性別	成績					趣味特技			空白
	クラス 年度	区分	番号				国語	数学	社会	理科	英語	1	2	3	
桁	3	1	2	12	18	1	3	3	3	3	3	1	2	3	9
	9	X	9	X	X	X	9	9	9	9	9	X	X	X	X

② 処理内容

- (1) 1レコードから1行の明細を作成する
- (2) クラス別（学生番号の前4桁）に、5科目の合計点の高い順に印刷する
- (3) 1ページには20名分を印刷する



クラス別成績順位表の形式

```

** 成績リスト ** DATE 99/99/99 PAGE ZZ9
                           作成者 XXXXXXXXXXXX

学生番号 氏名          英語 数学 国語 理科 社会 合計
XXXXXX  XXXXXXXXXXXX  ZZ9 ZZ9 ZZ9 ZZ9 ZZ9 ZZ9
XXXXXX  XXXXXXXXXXXX  ZZ9 ZZ9 ZZ9 ZZ9 ZZ9 ZZ9

(1ページ20人分)

XXXXXX  XXXXXXXXXXXX  ZZ9 ZZ9 ZZ9 ZZ9 ZZ9 ZZ9
  
```

「COBOL 整列処理」のプログラム例

```
IDENTIFICATION DIVISION.
PROGRAM-ID. 整列処理.
ENVIRONMENT DIVISION.
INPUT-OUTPUT SECTION.
FILE-CONTROL.
    SELECT MST-FILE ASSIGN TO 作成者語.
    SELECT SRT-FILE ASSIGN TO 作成者語.
    SELECT CLS-FILE ASSIGN TO 作成者語.
DATA DIVISION.
FILE SECTION.
FD  MST-FILE
   BLOCK CONTAINS 10 RECORDS.
01  MST-REC.
   03  MST-GAKBAN.
      05  MST-CLS.
         07  MST-NEN      PIC 9(03).
         07  MST-KBN      PIC X(01).
      05  MST-BAN        PIC 9(02).
03  MST-NAME            PIC X(12).
03  MST-KANJI           PIC X(18).
03  MST-SEX             PIC X(01).
03  MST-SEISEKI        OCCURS 5 TIMES.
   05  MST-TEN          PIC 9(03).
03  MST-SHUMI          OCCURS 3 TIMES.
   05  MST-TOK          PIC X(01).
03                      PIC X(09).
SD  SRT-FILE.
01  SRT-REC.
   03  SRT-GAKBAN.
      05  SRT-CLS.
         07  SRT-NEN      PIC 9(03).
         07  SRT-KBN      PIC X(01).
      05  SRT-BAN        PIC 9(02).
03  SRT-NAME            PIC X(12).
03  SRT-SEISEKI        OCCURS 5 TIMES.
   05  SRT-TEN          PIC 9(03).
03  SRT-GOKEI          PIC 9(03).
FD  CLS-FILE
   LABEL RECORD OMITTED.
01  CLS-REC.
   03                      PIC X(132).

WORKING-STORAGE SECTION.
77  GOKEI                PIC 9(03) VALUE ZERO.
77  I                    PIC 9(02) VALUE ZERO USAGE BINARY.
77  HANTEI               PIC 9(01) VALUE ZERO.
77  CNT-LINE             PIC 9(02) VALUE 20.
77  CNT-PAGE            PIC 9(03) VALUE ZERO.
```

(続く)

(続き)

```
01 OOMIDASI.
03 PIC X(16) VALUE SPACE.
03 PIC X(03) VALUE "**".
03 PIC X(16) VALUE "成績リスト".
03 PIC X(06) VALUE "**".
03 PIC X(05) VALUE "DATE".
03 OOM-DATE PIC 99/99/99.
03 PIC X(08) VALUE " PAGE".
03 OOM-PAGE PIC ZZ9.
01 CHUMIDASI.
03 PIC X(53) VALUE SPACE.
03 PIC X(14) VALUE "作成者".
03 PIC X(14) VALUE " 橋本 太郎 ".
01 KOMIDASI.
03 PIC X(11) VALUE SPACE.
03 PIC X(14) VALUE "学生番号".
03 PIC X(21) VALUE "氏 名".
03 PIC X(10) VALUE "英語".
03 PIC X(10) VALUE "数学".
03 PIC X(10) VALUE "国語".
03 PIC X(10) VALUE "理科".
03 PIC X(10) VALUE "社会".
03 PIC X(10) VALUE "合計".
01 MEISAI.
03 PIC X(11) VALUE SPACE.
03 MEI-GAKBAN PIC X(06).
03 PIC X(04) VALUE SPACE.
03 MEI-NAME PIC X(12).
03 PIC X(06) VALUE SPACE.
03 MEI-EIGO PIC ZZ9.
03 PIC X(03) VALUE SPACE.
03 MEI-SUGAKU PIC ZZ9.
03 PIC X(03) VALUE SPACE.
03 MEI-KOKUGO PIC ZZ9.
03 PIC X(03) VALUE SPACE.
03 MEI-RIKA PIC ZZ9.
03 PIC X(03) VALUE SPACE.
03 MEI-SHAKAI PIC ZZ9.
03 PIC X(03) VALUE SPACE.
03 MEI-GOKEI PIC ZZ9.
```

(続く)



(続き)

```
PROCEDURE DIVISION.  
BEGIN SECTION.  
BEGIN1.  
  ACCEPT OOM-DATE FROM DATE  
  SORT SRT-FILE ON ASCENDING KEY SRT-CLS  
                  DESCENDING KEY SRT-GOKEI  
                  INPUT  PROCEDURE INPUT-RTN  
                  OUTPUT PROCEDURE OUTPUT-RTN  
  
  STOP RUN.  
  
INPUT-RTN SECTION.  
INPUT1.  
  OPEN INPUT MST-FILE  
  READ MST-FILE  
    AT END MOVE 9 TO HANTEI  
  END-READ  
  PERFORM UNTIL HANTEI = 9  
    MOVE ZERO TO GOKEI  
    PERFORM VARYING I FROM 1 BY 1 UNTIL I > 5  
      COMPUTE GOKEI = GOKEI + MST-TEN(I)  
      MOVE MST-TEN(I) TO SRT-TEN(I)  
    END-PERFORM  
    MOVE GOKEI      TO SRT-GOKEI  
    MOVE MST-GAKBAN TO SRT-GAKBAN  
    MOVE MST-NAME   TO SRT-NAME  
    RELEASE SRT-REC  
    READ MST-FILE  
      AT END MOVE 9 TO HANTEI  
    END-READ  
  END-PERFORM  
  CLOSE MST-FILE.
```

(続く)

```
OUTPUT-RTN SECTION.  
OUTPUT1.  
  OPEN OUTPUT CLS-FILE  
  MOVE ZERO TO HANTEI  
  RETURN SRT-FILE  
    AT END MOVE 9 TO HANTEI  
  END-RETURN  
  PERFORM UNTIL HANTEI = 9  
    MOVE SRT-TEN(1) TO MEI-EIGO  
    MOVE SRT-TEN(2) TO MEI-SUGAKU  
    MOVE SRT-TEN(3) TO MEI-KOKUGO  
    MOVE SRT-TEN(4) TO MEI-RIKA  
    MOVE SRT-TEN(5) TO MEI-SHAKAI  
    MOVE SRT-GOKEI TO MEI-GOKEI  
    MOVE SRT-GAKBAN TO MEI-GAKBAN  
    IF CNT-LINE = 20  
      MOVE SPACE TO CLS-REC  
      WRITE CLS-REC AFTER PAGE  
      COMPUTE CNT-PAGE = CNT-PAGE + 1  
      MOVE CNT-PAGE TO OOM-PAGE  
      WRITE CLS-REC FROM OOMIDASI AFTER 3  
      WRITE CLS-REC FROM CHUMIDASI AFTER 2  
      WRITE CLS-REC FROM KOMIDASI AFTER 2  
      MOVE SPACE TO CLS-REC  
      WRITE CLS-REC AFTER 1  
      MOVE ZERO TO CNT-LINE  
    END-IF  
    WRITE CLS-REC FROM MEISAI AFTER 2  
    COMPUTE CNT-LINE = CNT-LINE + 1  
    RETURN SRT-FILE  
      AT END MOVE 9 TO HANTEI  
    END-RETURN  
  END-PERFORM  
CLOSE CLS-FILE.
```

### 9. 6. 3 金種計算

給与ファイルを入力して、個人の差引支給額を計算して、お金の種類と枚数を求めて給与金種一覧表を作成する。

#### ① 給与ファイルの形式

項目	部課 コード	社員 コード	氏名	基本 給	扶養 手当	住宅 手当	通勤 手当	所得 税	住民 税	社会 保険	雇用 保険
桁	2	6	20	6	5	5	5	5	5	5	5
属性	9	9	X	9	9	9	9	9	9	9	9

#### ② 処理内容

##### (1) 差引支給額の計算

差引支給額 = 総支給額 - 総控除額

総支給額 = 基本給 + 扶養手当 + 住宅手当  
+ 通勤手当

総控除額 = 所得税 + 住民税 + 社会保険  
+ 雇用保険

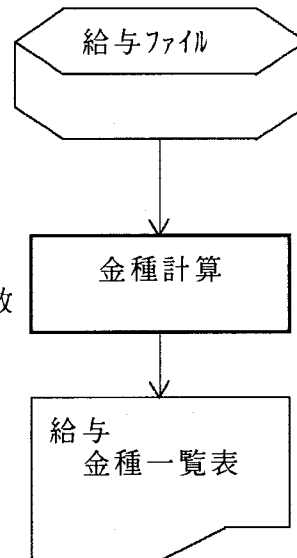
##### (2) 給与金種一覧表には個人ごとに次の項目を印刷する。

部課コード、社員コード、差引支給額、金種別枚数

##### (3) 部課ごとの合計の金種を印刷する。

##### (4) 最後に総合計の金種を印刷する。

##### (5) 改ページは考慮しない。



#### ③ 給与金種一覧表の形式

***** キュウゴ キンシュ イチランヒョウ *****							DATE 99/99/99				
ブカ	シャインコード	キンガク	¥10,000	¥5,000	¥1,000	¥500	¥100	¥50	¥10	¥1	
99	9999999	Z, ZZZ, ZZ9	ZZ9	9	9	9	9	9	9	9	
99	9999999	Z, ZZZ, ZZ9	ZZ9	9	9	9	9	9	9	9	
	:										
99	9999999	Z, ZZZ, ZZ9	ZZ9	9	9	9	9	9	9	9	
	BU-KEI	ZZZ, ZZZ, ZZ9	Z, ZZ9	ZZ9	ZZ9	ZZ9	ZZ9	ZZ9	ZZ9	ZZ9	
99	9999999	Z, ZZZ, ZZ9	ZZ9	9	9	9	9	9	9	9	
99	9999999	Z, ZZZ, ZZ9	ZZ9	9	9	9	9	9	9	9	
	BU-KEI	ZZZ, ZZZ, ZZ9	Z, ZZ9	ZZ9	ZZ9	ZZ9	ZZ9	ZZ9	ZZ9	ZZ9	
	SO-KEI	ZZZ, ZZZ, ZZ9	Z, ZZ9	ZZ9	ZZ9	ZZ9	ZZ9	ZZ9	ZZ9	ZZ9	

「金種計算」のプログラム例

```
IDENTIFICATION DIVISION.  
PROGRAM-ID. 金種計算.  
ENVIRONMENT DIVISION.  
INPUT-OUTPUT SECTION.  
FILE-CONTROL.  
    SELECT KYU-FILE ASSIGN TO 作成者語.  
    SELECT LST-FILE ASSIGN TO 作成者語.  
DATA DIVISION.  
FILE SECTION.  
FD  KYU-FILE  
    BLOCK CONTAINS 10 RECORDS.  
01  KYU-REC.  
    03  KYU-BUKA      PIC X(02).  
    03  KYU-SYAIN    PIC X(06).  
    03  KYU-NAME     PIC X(20).  
    03  KYU-KIHON    PIC 9(06).  
    03  KYU-FUYO     PIC 9(05).  
    03  KYU-JYUTAKU PIC 9(05).  
    03  KYU-TUKIN    PIC 9(05).  
    03  KYU-STAX     PIC 9(05).  
    03  KYU-JTAX     PIC 9(05).  
    03  KYU-SHOKEN   PIC 9(05).  
    03  KYU-KHOKEN   PIC 9(05).  
FD  LST-FILE  
    BLOCK CONTAINS 10 RECORDS.  
01  LST-REC.  
    03          PIC X(132).  
  
WORKING-STORAGE SECTION.  
01  OOMIDASI.  
    03          PIC X(41) VALUE SPACE.  
    03          PIC X(08) VALUE "*****".  
    03          PIC X(11) VALUE "キ ュ ウ ヨ".  
    03          PIC X(11) VALUE "キ シ ュ".  
    03          PIC X(16) VALUE "イ ラ ン ヒ ヨ ウ".  
    03          PIC X(27) VALUE "*****".  
    03  HIZUKE    PIC 99/99/99.  
01  KOMIDASI.  
    03          PIC X(05) VALUE SPACE.  
    03          PIC X(09) VALUE "ブカ".  
    03          PIC X(14) VALUE "シャインコート".  
    03          PIC X(12) VALUE "キンガク".  
    03          PIC X(11) VALUE "¥10,000".  
    03          PIC X(10) VALUE "¥5,000".  
    03          PIC X(12) VALUE "¥1,000".  
    03          PIC X(10) VALUE "¥500".  
    03          PIC X(11) VALUE "¥100".  
    03          PIC X(10) VALUE "¥50".  
    03          PIC X(11) VALUE "¥10".  
    03          PIC X(10) VALUE "¥5".  
    03          PIC X(02) VALUE "¥1".
```

(続く)

(続き)

```
01 MEISAI.  
03 PIC X(06) VALUE SPACE.  
03 MEI-BUKA PIC 9(02).  
03 PIC X(07) VALUE SPACE.  
03 MEI-SYAIN PIC 9(02).  
03 PIC X(06) VALUE SPACE.  
03 MEI-KINGAKU PIC Z,ZZZ,ZZ9.  
03 PIC X(01) VALUE SPACE.  
03 MEI-MAISU OCCURS 9 TIMES.  
05 PIC X(07) VALUE SPACE.  
05 MEI-MAI PIC ZZ9.  
  
01 KEI.  
03 PIC X(15) VALUE SPACE.  
03 KEI-SYAIN PIC X(08).  
03 KEI-KINGAKU PIC Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9.  
03 PIC X(05) VALUE SPACE.  
03 KEI-MAISU OCCURS 9 TIMES.  
05 KEI-MAI PIC ZZ,ZZ9.  
05 PIC X(04).  
  
01 BUKEI.  
03 BKW PIC 9(09) VALUE ZERO.  
03 BKM OCCURS 9 TIMES.  
05 BKMW PIC 9(04) VALUE ZERO.  
  
01 GOKEI.  
03 GKW PIC 9(09) VALUE ZERO.  
03 GKM OCCURS 9 TIMES.  
05 GKMW PIC 9(04) VALUE ZERO.  
  
01 KEISAN.  
03 KST PIC 9(05) OCCURS 9 TIMES.  
01 OLD-BUKA PIC X(02).  
01 WRK-MAI PIC 9(03).  
01 KOJYO PIC 9(06).  
01 HANTEI PIC 9(01) VALUE ZERO.  
01 I PIC 9(02) USAGE BINARY.
```

(続く)

次頁の代入文をデータ部で前もって設定する場合の例。

```
01 KEISAN-VALUE.  
03 PIC 9(05) VALUE 10000.  
03 PIC 9(05) VALUE 5000.  
03 PIC 9(05) VALUE 1000.  
03 PIC 9(05) VALUE 500.  
03 PIC 9(05) VALUE 100.  
03 PIC 9(05) VALUE 50.  
03 PIC 9(05) VALUE 10.  
03 PIC 9(05) VALUE 5.  
03 PIC 9(05) VALUE 1.  
01 KEISAN REDEFINES KEISAN-VALUE.  
03 KST PIC 9(05) OCCURS 9 TIMES.
```

(続き)

PROCEDURE DIVISION.  
BEGIN SECTION.  
BEGIN1.

PERFORM INIT-RTN  
PERFORM MAIN-RTN  
PERFORM TERM-RTN  
STOP RUN.

INIT-RTN SECTION.

INIT1.

OPEN INPUT KYU-FILE  
OUTPUT LST-FILE  
ACCEPT HIZUKE FROM DATE

MOVE 10000 TO KST(1)  
MOVE 5000 TO KST(2)  
MOVE 1000 TO KST(3)  
MOVE 500 TO KST(4)  
MOVE 100 TO KST(5)  
MOVE 50 TO KST(6)  
MOVE 10 TO KST(7)  
MOVE 5 TO KST(8)  
MOVE 1 TO KST(9)

PERFORM READ-RTN.

左の代入文を計算で行う場合

MOVE 10000 TO 分子  
MOVE 2 TO 分母  
PERFORM VARYING K FROM 1 BY 1  
UNTIL K > 9  
MOVE 分子 TO KST(K)  
COMPUTE 分子 = 分子 / 分母  
COMPUTE 分母 = 7 - 分母  
END-PERFORM

MAIN-RTN SECTION.

MAIN1.

MOVE SPACE TO LST-REC  
WRITE LST-REC AFTER PAGE  
WRITE LST-REC FROM OOMIDASI AFTER 3  
WRITE LST-REC FROM KOMIDASI AFTER 2  
PERFORM UNTIL KYU-BUKA = HIGH-VALUE  
MOVE KYU-BUKA TO OLD-BUKA  
PERFORM UNTIL KYU-BUKA NOT = OLD-BUKA  
PERFORM SUB1-RTN  
END-PERFORM  
PERFORM SUB1-RTN  
END-PERFORM.

READ-RTN SECTION.

READ1.

READ KYU-FILE  
AT END MOVE HIGH-VALUE TO KYU-BUKA  
END-READ.

(続く)

## SUB1-RTN SECTION.

## SUB11.

```
COMPUTE KOJYO = KYU-KIHON + KYU-FUYO + KYU-JYUTAKU
              + KYU-TUKIN - KYU-STAX - KYU-JTAX
              - KYU-SHOKEN - KYU-KHOKEN
COMPUTE BKW = BKW + KOJYO
MOVE KOJYO TO MEI-KINGAKU
PERFORM VARYING I FROM 1 BY 1 UNTIL I > 9 OR KOJYO = 0
    COMPUTE WRK-MAI = KOJYO / KST(I)
    COMPUTE KOJYO = KOJYO - WRK-MAI * KST(I)
    MOVE WRK-MAI TO MEI-MAI
    COMPUTE BKMW(I) = BKMW(I) + WRK-MAI
END-PERFORM
MOVE KYU-BUKA TO MEI-BUKA
MOVE KYU-SYAIN TO MEI-SYAIN
WRITE LST-REC FROM MEISAI AFTER 2
PERFORM VARYING I FROM 1 BY 1 UNTIL I > 9
    MOVE ZERO TO MEI-MAI(I)
END-PERFORM
PERFORM READ-RTN.
```

## SUB2-RTN SECTION.

## SUB21.

```
MOVE "BU-KEI" TO KEI-SYAIN
MOVE BKW TO KEI-KINGAKU
PERFORM VARYING I FROM 1 BY 1 UNTIL I > 9
    MOVE BKMW(I) TO KEI-MAI(I)
    COMPUTE GKMW(I) = GKMW(I) + BKMW(I)
END-PERFORM
COMPUTE GKW = GKW + BKW
WRITE LST-REC FROM KEI AFTER 2
INITIALIZE BUKEI.
```

## TERM-RTN SECTION.

## TERM1.

```
PERFORM VARYING I FROM 1 BY 1 UNTIL I > 9
    MOVE GKMW(I) TO KEI-MAI(I)
END-PERFORM
MOVE "SO-KEI" TO KEI-SYAIN
MOVE GKW TO KEI-KINGAKU
WRITE LST-REC FROM KEI AFTER 2
CLOSE KYU-FILE
LST-FILE.
```

## 指導上の留意点

### ◎字下げ (indentation)

プログラムの論理構造の範囲を明確にするために、制御構造の「選択」、「繰り返し」は、「順次」と区別できるように字下げを行うとよい。  
また、制御が入れ子(ネスト)になる場合にも字下げを行う。なお、深い入れ子になる場合は、適当なレベルで止めてそれ以降の入れ子はサブルーチンにして外にだす。

### ◎注釈 (comment)

データ名、手続き名など利用者が任意につけられるが、各種の付け方があり他人に分かり難いこともある。言語の注釈機能を利用して、データの意味や処理の概略などの説明を原始プログラム中に記述するように心がけるとよい。

### ◎データ名

COBOLでは利用者名に30文字までの名前が付けられるので、データ名や手続き名にその意味や機能等を表現するような名前にするとうい。  
また、事務処理では複数のファイルを使う場合があり、どのファイルのデータ名なのか判別できる名前の付け方(接頭部、接尾部)もある。  
大規模システムの開発では、ファイルのレコード項目に共通のデータ名を付け、そのファイルを使用するプログラムはCOPY文やREPLACE文を使用して原始プログラムの中へ複写することでデータ名の統一を計っている。

FORTRANでは変数名が6文字までなので、変数名を省略することが多い。省略の変数名についても6文字で意味がわかるようにする。  
なお、上位1桁でデータの属性(integer、real)も決まるためその注意も必要である。

### ◎モジュール化

処理単位を分割する場合の目安として、コンパイラのコンパイルリストの1頁(約60行)に納まるようにモジュール化するとよい。  
各モジュールは「SECTION」毎にまとめるとPERFORMの実行範囲も明確になり、段落名の追加もPERFORMを意識しないでできる。

### ◎PICTURE句の揃え方

COBOLではデータ名とその属性(タイプ、桁数等)を記述するがPICTURE句を前後の行で揃えると見やすさが向上する。  
また、桁数についても前ゼロをつけて統一しておくことと集団項目のサイズの計算などが楽になる。  
編集項目は、繰り返しの括弧を使わないようにすると桁数や形式が理解しやすくなる。

### ◎GOTO文

構造化プログラミングの手法に従ってコーディングすれば、全くGOTO文を使用しないプログラムが作成できる。

### ◎終止符 (ピリオド)

IF文など処理範囲を区切るためにピリオドの使用はできる限りやめて明示範囲符を使う。字下げと条件文の終了をピリオドで記述すると誤りが発生しやすい。

```
IF 条件
  MOVE データ名1 TO データ名2 . ←ピリオドでIFの終了になるので
  COMPUTE データ名3 = 算術文     条件に関係なくCOMPUTEが実行される。
MOVE 定数 TO データ名4
```

### ◎PERFORM文

「繰り返し」でPERFORM文を使用する場合は、明示的に「TEST AFTER」、  
「TEST BEFORE」を記述するとよい。



◎ ファイルの定義

COBOLでは、外部の物理ファイルの属性をCOBOLの文法上で表現できないことがある。これらの物理ファイルの定義はコンパイラ作成者によって文法が拡張されている。主に、SELECTとFD句が拡張されている。

SELECT ファイル名 ASSIGN TO 利用者語

FD ファイル名

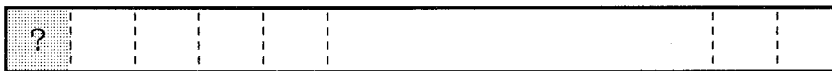
ファイル情報の拡張記述

01 レポート名 ~

◎ 改ページ、改行

COBOLのWRITE文で改ページ（PAGE指定）や改行（LINES指定）の場合のレコード構成は、次のように処理するコンパイラもある。

```
01 レポート名.
   03 FILLER      PICTURE X(1).
   03 データ名1  ~
   03 データ名2  ~
```



レポートの最初のバイトが改行、改ページの制御バイトに変換される。

WRITE レポート名 AFTER ADVANCING PAGE  
(n LINES)

これらは、FORTRANの改ページ、改行でも意識して記述することもある。

```
WRITE(6,100) 変数名1 変数名2
100  FORMAT(1H1,~)
```

◎ ファイル入力

ファイルの入力処理で見落とすことの中に、レコードが存在しない場合や1件のレコードだけのファイルの場合がある。

キーのマッチング処理ではファイルの終了時のキーの値をどうするのかも注意する必要がある。一般にはキーの値として「HIGH-VALUE」がよく使われるがキー項目が「数字項目」の場合には注意を要する。

◎ 配列の処理

汎用コンピュータのCOBOLでは、配列の範囲外の添字を指定しても実行時エラーにならない場合もある。これは、プログラムの実行性能のために添字の範囲をチェックする処理を省略したためである。

添字には、バイナリ項目（USAGE BINARY）や指標名を使うと実行性能が向上する。